

1997年10月30日

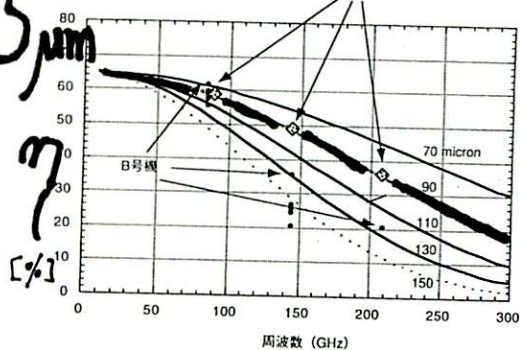
干渉計パネル調整作業成功

鏡面精度の大幅向上

10月7日より行われていた干渉計現号機の主鏡面パネル調整作業が終了し、どのアンテナも鏡面精度が大幅に改善されました。

作業は夜間、ホログラム測定と行いパネルの變形、screwボルトなど考慮して指示書を作成。指示書にもとれ三菱電機さんが調整を行いました。鏡面に置いた4個のダイヤルゲージを交換し、右側さんが1つみながら、鏡面下の応用さん、西さんがスピナ1本で10 μ mの精度で調整しました。これと並行して22昼夜連続で作業した結果が左です。同様に副鏡edgeによる回折の実験なども行い、今後の高精度アンテナに向けての基礎データ取得；とあり、面精度の向上は下図のよう期待されます。(特に150GHz以上ぞ！)

“斎藤の好言 - 右屋の希望曲線”



左図で回折パターンは、スプライトとして除去しています。

古屋、斎藤(CfA)、とつき(天研)、高橋、石黒ほか。

与えられた鏡面が良くないで50%改善された！
これにレインボー干渉計の結果が一段と加速されると思います。
石黒

測定は森田さん、中島さんを中心にNMAチーム、ほぼ全員の強力なサポートの結果です。

